



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.4
令和6年 7月4日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】

りこうで
たっしやで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB



あたたかい言葉があふれる学校にしていこう！

校長 遠藤 隆典

今週始め、新聞の「旭川自殺 いじめが原因」という見出しが目飛び込んできました。翌日は、自殺はいじめが主因と認定されたことが一面でした。3年前に旭川の子中学生が冬の公園で亡くなった事件が節目を迎えたのですが、いじめが原因と言われながらも、認定までこれほど時間がかかる現実がいじめの複雑さを表していると感じました。

このようなことは二度と起こってはいけません。しかし、この事件はどこで起こってもおかしくないとされています。現在、いじめの主たる方法が、子どもたちが当たり前に使っている SNS での言葉のやりとりだという社会状況が心配です。SNS は、多くの子どもが利用されています。「人を傷つけるメッセージ」「人に嫌な思いをさせるメッセージ」が本校児童でもやりとりされているかもしれないと危機感を持たなければならないと感じています。

子どもたちに、自分が発信する言葉・メッセージに危機感をもってほしく、先日の全校朝会で、その記事にふれて話しました。子どもたちは、学校生活や人間関係で不安定になると、人を傷つけてしまうとげとげしい言葉や否定的な言葉を使いがちです。声に出せないけれど、嫌な思い悲しい思いをしている人がそこにはいることを、考えられる人になってほしいです。自分が発する言葉を見つめ直し、相手意識を考えた適切な言葉へと工夫できるそんなコミュニケーション能力を身に付けていくことを願っています。今後も、日々の学級指導、道徳や情報モラル教室を通して、考える機会を増やしていきたいと考えています。

毎朝、玄関前で爽やかな挨拶や笑いにつながるあたたかな言葉の掛け合いから学校生活はスタートしています。学校内に一日中、気持ちのいい言葉、お互いが元気になるあたたかい言葉があふれるように、全職員全児童力を合わせて、互いにあたたかい言葉がけができる学校風土づくりへ向け努力していきます。

そして、全職員で「いじめ見逃し0」への意識・危機感を更に高めて取り組んで参ります。

【いじめの定義】いじめ防止対策推進法の施行に伴い、H25年度から以下のとおり定義されています。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

★学校名の変遷 明治 28 年に稲穂小学校として開校しましたが、昭和 9 年稲穂尋常小学校と改称され、太平洋戦争時の昭和 16 年には、稲穂国民学校へと改称されました。そして、戦後の学制改革により昭和 22 年に稲穂小学校と改称され、現在に至っています。

130周年へ 稲穂小7千歴史

★他校との統合 昭和 44 年に現在の小樽市保健所・小樽市総合福祉センターの場所に富岡小学校がありました。小学校が隣り合わせという珍しい状況でした。市街地の児童数が多かった時代なのですね。昭和 44 年に富岡小学校は稲穂小と統廃合となりました。そして、児童数減少に伴う小樽市学校適正配置計画に基づき平成 28 年に色内小学校とも統廃合となりました。

6年生 修学旅行で深まった絆をこれからの学校生活充実につなげて！

6月26・27日、6年生が修学旅行に行ってきました。2日間を通して好天に恵まれ、各見学地では気持ちのいい青空のもと、活動することができました。帰路直前に雨にあたりましたが、予定通りの行程を無事に終えることができました。



見学地での解説員の話真剣に聞く姿、メモに必死に書き写している姿、友達と教え合い楽しそうに作品を作る姿が見られ、各見学地で五感を通した豊かな学びをしてくることができました。挨拶や静かにして話を聞くこと、場をわきまえて行動する大切さも改めて学び実感した2日間だったのではないかと感じています。

友達と楽しく過ごし深まった絆を、これからの学校生活に生かし、それぞれが生活・学習の頑張りにつなげてくれることを期待しています。



学年を越えたかかわりで楽しく活動 R6年度 クラブ活動

令和6年度のクラブ活動について紹介致します。クラブ活動は、4年生以上で子どもたちが取り組んでみたい活動をもとに組織し、6月から11月の月曜日の6時間目に合計7時間実施する予定です。今年度開設となったクラブは、ゲームクラブ、ダンスクラブ、家庭科クラブ、プログラミングクラブ、イラストクラブ、理科実験クラブ、球技クラブ、バドミントンクラブ、卓球クラブの9つです。



高学年がリーダーとなり、皆にとっていい活動になるようにクラブとしての活動目標を決めて、協力し合って毎回楽しそうに取り組んでいる姿がみられます。学年を越えたかかわりにより、リーダー性や思いやりの心、連帯感が大きく育まれていくことを願っています。

各学年の体力テスト実施に多くの保護者サポーターの協力をいただきました！

子どもたちが体力・運動能力向上を自分ごととして意識を高め取り組めるよう玄関ホールで全校の記録の掲示や春秋の2回の体力テストを実施する取組を行っています。体力テストの際には、多くの保護者のサポートによりスムーズに実施でき大変助かりました。ありがとうございました。なお、玄関ホールの記録を今年度1回目の記録へと切り替えましたので、ご来校の際には是非ご覧ください。



チャレンジ2024 ピアノ演奏チャレンジ！



子どもたちの主体性を育む「チャレンジ2024」。この度、2年生から、「みんなにピアノを好きになってほしいからチャレンジピアノをやりたいです。」というお手紙をいただきました。勇気を出してやる気を伝えようと思ったその手紙に校長の私は感動しうれしくなりました。

チャレンジ川柳の要望も以前より受けていましたので、1学期末に「チャレンジピアノ」「チャレンジ川柳」の2つの取組を実施します。子どもたちが生き生きと挑戦する姿を楽しみにしています。